

幾何学I テスト (7/25) 講評

問題 1. (20 点) 比較的できていたが、射影空間上の関数と $\mathbb{R}^{n+1} \setminus \{0\}$ 上の関数の区別が
ついていないものが、見られた。

問題 2. (20 点) 極めてできが悪かった。(1 名を除き、全員 0 点) 演習問題として出して
おいたにもかかわらず、このような結果になったことは残念であり、授業を受動的に聞いて
いるだけで、演習問題を積極的に解くことがなされていなかった、ということであると、
理解している。

問題 3. (20 点) コンパクトであることがきちんと使われているのかどうか、をやや厳しく
見て採点した。

問題 4. ((1) 10 点, (2) 5 点, (3) 5 点) (1),(2) を認めれば、(3) を証明するのは易しいの
で、(1),(2) ができていないものは、(3) は採点しないものとした。その結果、この問題も
演習問題であったにも関わらずに、極めてできが悪く、1 名を除き、全員 0 点であった。最
後の方の演習問題だったので、勉強する時間が足りなかったのかもしれないが、解答を見
る限り、微分形式を理解していないと思われる答案もあり、必ずしもそうでない者も多数
ある。

問題 5. ((1) 10 点, (2) 5 点, (3) 5 点) (1) ができていなくても、(2) を独立に採点した。

答案を数学事務室 (理学部 3 号館 1F) で返却するので、受け取ること。採点に異議のある
ものは事務室まで申し出ること。ただし、採点に間違いがあったと認められる場合以外、評
価の変更は受け付けられない。

全体の評価は、今回のテストおよび 5 月 16 日 の小テストを適当に組み合わせて行ない、
素点ではなく ABCF で付けた。

中島 啓